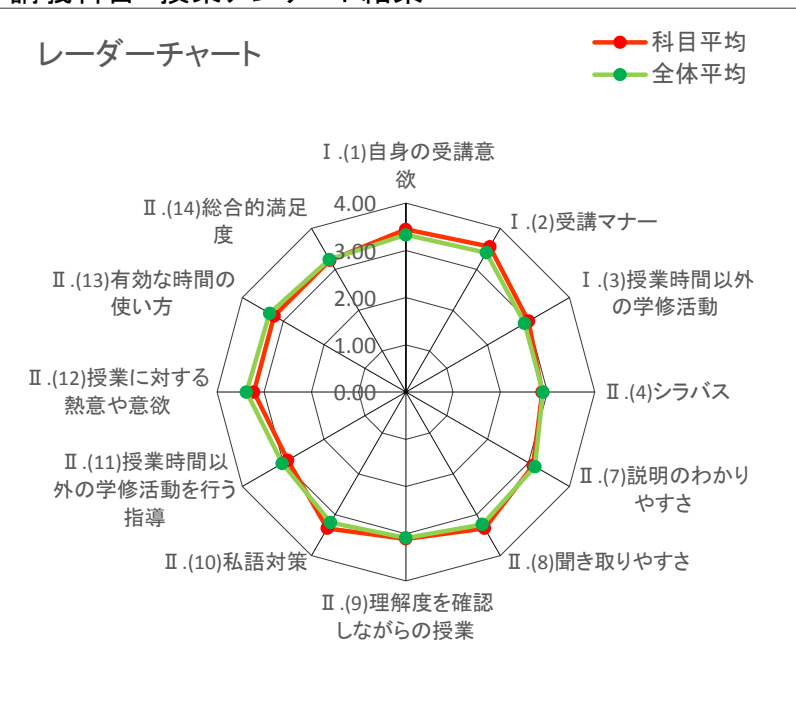
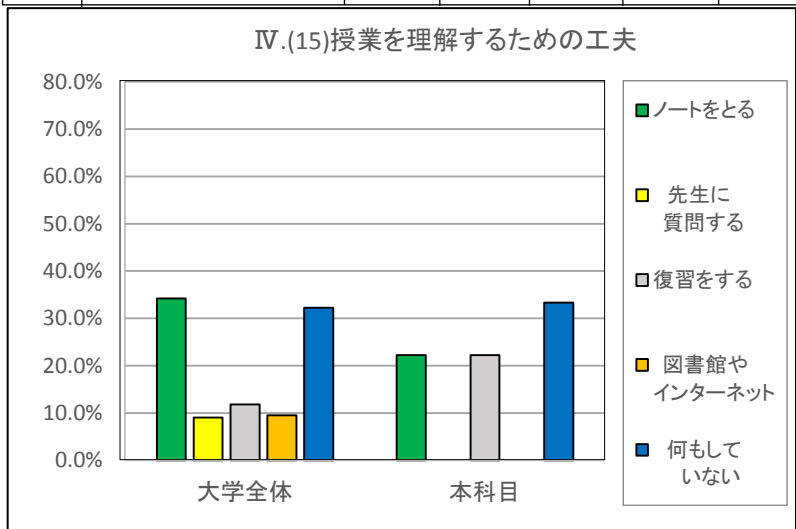


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	33.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 後期
時間割番号	33313/33650
科目名	法の仕組みとビジネス/法学入門
教員名	

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.44	3.33
	I.(2)	3.56	3.41
	I.(3)	3.00	2.91
講義内容・方法	II.(4)	2.89	2.90
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.11	3.16
	II.(8)	3.33	3.24
	II.(9)	3.11	3.09
	II.(10)	3.33	3.19
	II.(11)	2.89	3.03
	II.(12)	3.22	3.38
	II.(13)	3.22	3.33
	満足度	II.(14)	3.22

①授業計画の達成度について  
 具体的事件の解決にさいして、裁判所がどのような法律上の判断をしたのかを理解できるようにすることが主要な目標である。テーマは法律学でありそれぞれの基礎的知識と考え方を短時間で講義するので、自分で六法を丁寧に読み考える姿勢が重要である。法律用語や各種法制度を十分に理解するため、判例解説を織り込みながら、シラバスに記載の順序で授業を進めている。判例を材料とする講義は、ある程度学生の興味や学習意欲の向上につながる。

②授業の進め方について  
 受講者数との関係で適切な広さの教室である。教室の隅々まで、大きな声を出さなくても聞こえるが、比較的大きい声で明瞭に話すので、わかりやすいと思う。学生がノートを取っているかなど受講の様子を見に教室を巡回することがある。概ね学生は静かに講義を聴いている。学生の理解度については、理論的説明や条文解釈はやや難しいようである。しかし理解しようとして真剣に授業に取り組む学生が多い。これは満足度等の数字にも表れている。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について  
 私語対策は、するまでもなく授業環境は良好である。法律の勉強は、条文と制度の基本的理解が重要であり、そのために判例を材料とする。自分で事件に対する素朴な疑問を持ち、講義を聴いてなるほどと思うことがなければ、それをさらに展開した思考や発想は出てこない。しかし学生諸君の出席意欲は、それなりに感じることができると、さらにそれを前向きに進める努力を引き出すように、取り組むことができればと考える。

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢		
I.(1)~(3)	3.33	3.21
講義内容・方法		
II.(4)~(13)	3.14	3.17
総合的満足度		
III.(14)	3.22	3.24